

目 次

彫 刻	13
書 道	14
デ ザ イ ン	17
洋 画	19
工 芸	22
日 本 画	23
水 墨 画	24
写 真	25



ご あ い さ つ

久留米市長 原 口 新 五

本日ここに、「第72回久留米市総合美術展」の開催にあたり、これまでご支援、ご協力いただきました多くの皆様に、心より御礼を申し上げます。

本展は、市民の皆様の美術創作活動を奨励し、身近に美術を鑑賞いただく機会を提供するとともに、地域美術文化の振興と普及を図ることを目的に開催している美術公募展であり、今回で72回目を迎えます。

今回は、日本画、水墨画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザインの各部門合わせて284点と、市内外の幅広い世代の方々から、多数の応募をいただいております。厳正なる審査を経て、各賞に入賞、入選された方々には、心よりお祝い申し上げます。

久留米市美術館1階に展示される入賞、入選作品は、いずれも個性的で創造性にあふれた素晴らしい作品ばかりですので、ぜひ多くの市民の皆様に、ご鑑賞いただきたいと思います。

本市では、文化芸術を担う人材の育成・支援に目を向け、誰もが生き生きと生活ができ、活躍ができる共生のまちづくりを目指しております。どうか皆様方には、今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びになりますが、本展を機に、次代を担う芸術家が大きく飛躍をされることを願いますとともに、開催までにご尽力いただきました関係者並びにご出品いただきました皆様の、今後ますますのご健勝、ご活躍を祈念して、挨拶といたします。



ご あ い さ つ

久留米市総合美術展実行委員会

会 長 内 野 博 夫

秋深まる中久留米市美術館で「第72回久留米市総合美術展」が開催できましたことを大変嬉しく思っています。

この美術展は、筑後地区一円の市民の公募展であり、半世紀以上も続いている歴史ある美術展であります。本年も審査員の先生が講評で述べられていらっしゃるように力作が多く、また若い方からご高齢の方まで出品していただき大変嬉しく思っております。いずれの出品作も、創造性に溢れた新しいエネルギーを感じさせる芸術作品であります。前回より出品数は増加しました。各部門とも創造性のある作品が多くみられました。いずれの作品に対しても厳しい審査をしております。入賞・入選された方に祝意を表したいと思います。

本美術展が久留米地域文化の振興に寄与し、市民の方に僅かでも笑顔と元気を与えることができれば幸いと思います。併せてこの美術展を登竜門として、将来この地域から青木繁画伯や坂本繁二郎画伯のような優れた美術家が輩出することを願っております。

美術展の開催にあたり、久留米市長をはじめ行政の方々、審査をされた先生方、準備でご苦勞をかけた連文美術部門会員の皆様、久留米市美術館そして作品を出品された方々に深甚なる謝意を表します。

本日は久留米市総合美術展をご高覧いただき誠に有難うございます。

特 別 賞 の 解 説

来 目 賞

昭和 24 年に久留米連合文化会が結成され、それまで松田諦晶を中心に活動してきた「来目会」は、昭和 27 年より始まった久留米市美術展（洋画部門）に吸収され数多くの洋画家を育てた足跡を残してその幕を閉じた。

その第 1 回展の最優秀作品に「来目賞」が授与され、以来「来目賞」は第 50 回展迄洋画部の最高賞として、位置づけられていた。

51 回の美術展からは、8 部門（日本画・水墨画・洋画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン）全体の総合美術展最高賞として授与した。第 57 回より総合美術展の最高賞は「大賞」としたが、第 58 回より各部門の最高賞は市長賞となり、来目賞は従前どおり洋画部門の最優秀作品に授与することになった。

豊 田 賞

豊田勝秋先生は、昭和 28 年久留米連合文化会の副会長に就任され、その後昭和 43 年より昭和 46 年まで会長（第 5 代目）をつとめられ、久留米連合文化会の発展に多大な尽力をされるとともに、近代工芸の先駆者として全国的に有名な先生でした。

先生が亡くなられた昭和 47 年にこの偉大な工芸家の遺徳を偲び「豊田賞」が創設された。

第 60 回展より工芸部門の作品に、本賞の授与が固定された。第 61 回展より工芸部門の最優秀作品（市長賞）に授与することになった。

内 野 賞

内野秀美先生は昭和 43 年に久留米連合文化会副会長に就任され、以来豊田勝秋先生の後をうけて、昭和 47 年より平成元年迄 18 年間の永きに亘り第 6 代目の久留米連合文化会会長をつとめられた。

その間（社）示現会久留米支部長、西部示現会会長等多くの要職につかれ、久留米市は勿論、西日本地区において文化の振興発展に多大な尽力、貢献をされ平成元年に栄えある「西日本文化賞」を受賞された。

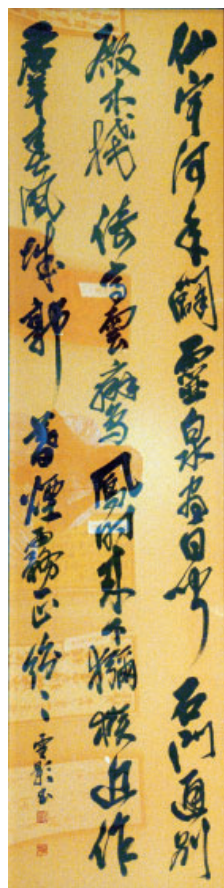
平成 10 年に亡くなられご遺族より多額の寄贈を受け、これを基金として偉大な先生の遺徳を偲び「内野賞」が創設された。

第 60 回展より洋画部門の作品に、本賞の授与が固定された。

市長賞受賞作品



彫刻 「生きる」
小西一記 (久留米市)



書道 「劉松詩」

西岡みゆき (久留米市)



デザイン 「言葉の力」
松土歩生 (福岡市)



久留米市長賞・来目賞
洋画 「かへろう。」
川島良子 (久留米市)



久留米市長賞・豊田賞

工 芸 「手毬つく秋映えに」

石 田 由美子（基山町）



日本画 「Shell timer」

酒 井 貴 輝（久留米市）



水墨画 「牡丹」

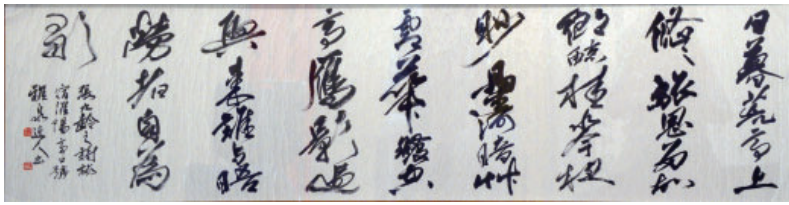
坂 本 千代女（久留米市）



写 真 「湊 江」

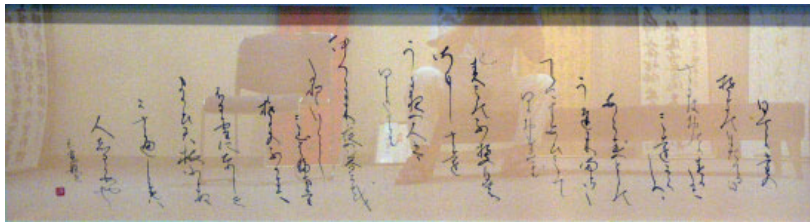
藤 崎 聖 二（大牟田市）

特 選 受 賞 作 品



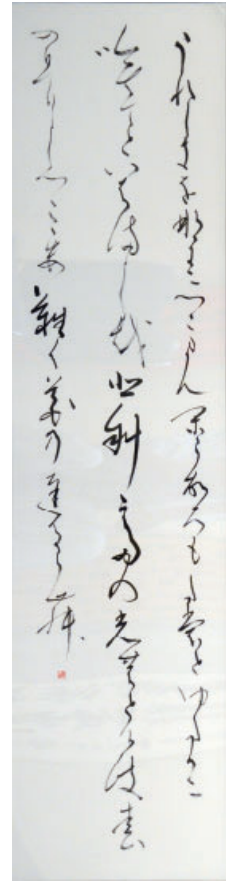
書 道 「張九齡之詩」

持 山 美奈子 (北九州市)



書 道 「良寛の歌」

實 藤 淳 子 (久留米市)



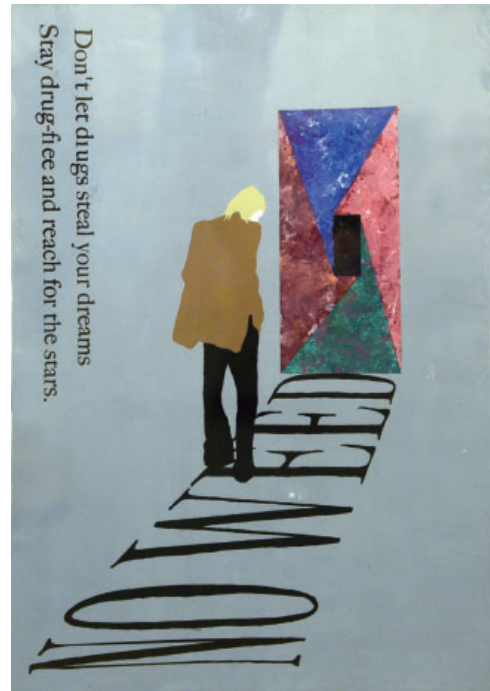
書 道 「うれしきを」

田 代 恭 子 (筑紫野市)



彫 刻 「麗らかなる」

塚 田 朋 加 (太宰府市)

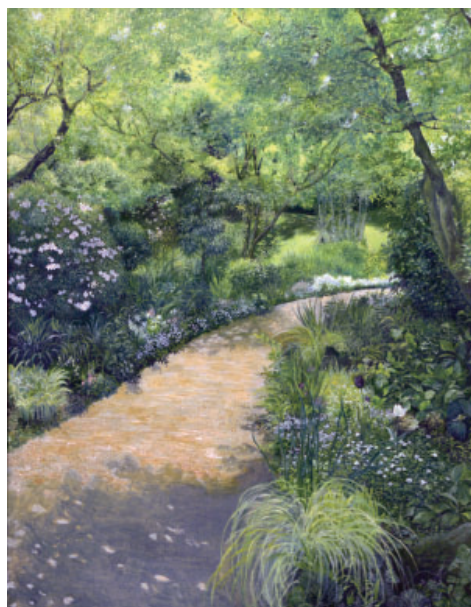


デザイン 「ドラッグの恐怖」

井 上 蓮 (福岡市)



洋画「紺碧の森」
大田 久美子（筑後市）



洋画「石橋文化センターの小道」
富安 真由（久留米市）



工芸「秋暁」
馬渡 久美子（久留米市）



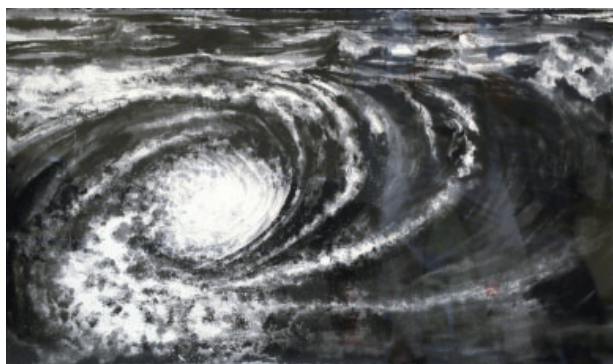
工芸「ルリ釉線紋花器」
平野 利光（太宰府市）



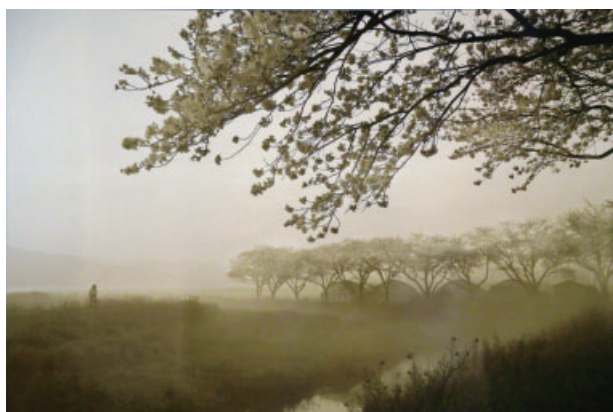
洋画「夜空の島」
山口 洋（久留米市）



日本画 「雲隠れ」
若 狹 凜 (太宰府市)



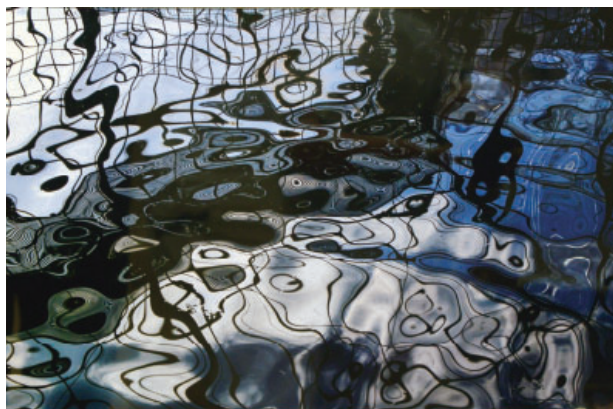
水墨画 「渦」
平 井 由 起 (大木町)



写 真 「おぼろ桜」
鹿児島 饒 二 (小郡市)



写 真 「お祓い」
千 種 美 朗 (朝倉市)



写 真 「おとぎ噺の世界」
平 川 明 子 (うきは市)

久留米文化推進協議会賞



書道 「宋湘詩」

大塚 ゆりえ (久留米市)

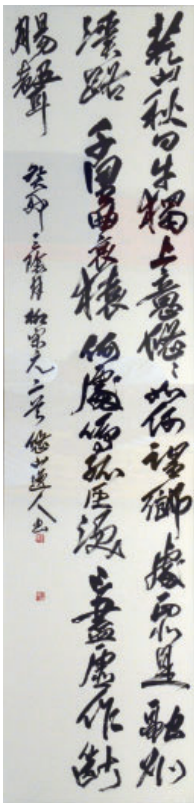


デザイン 「人生色々」
河津 璃子 (福岡市)



洋画 「バザールへ行こうよ」
森本 博子 (久留米市)

特別賞受賞作品



久留米市議会議長賞
書道「柳宗元詩二首」

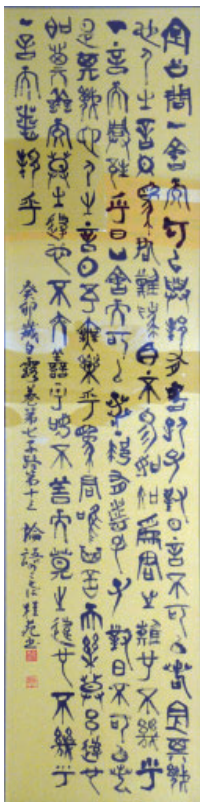
吉丸浩平（久留米市）



久留米文化振興会賞

洋画「工場夜景」

稗田敏明（久留米市）



久留米連合文化会賞
書道「論語のことば」

辻桂苑（久留米市）



内野賞

洋画「庭からの土産」

高木誠哉（久留米市）



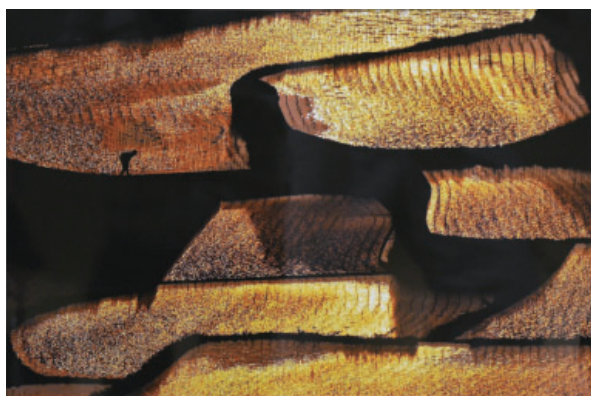
久留米市教育委員会賞
写 真「急 流」
笠 龍 介（久留米市）



久留米市美術館賞
写 真「堰」
福 井 繁（上峰町）



西日本新聞社賞
水墨画「露晴れま」
松 隈 美代子（鳥栖市）



福岡県美術協会賞
写 真「黄金の棚田」
中 野 政 重（久留米市）



北筑後ブロック協議会賞
写 真「シルエット」
井 口 理恵子（小郡市）

彫 刻

久留米市長賞	生きる	小 西 一 記	久留米市
特 選	麗らかなる	塚 田 朋 加	太宰府市
佳 作	大地へ、いのり	西 川 克 則	小 郡 市
入 選	痛 快	蒲 池 愛 莉	太宰府市
〃	魅	神 川 祐 夢	太宰府市

書

道

久留米市長賞	劉崧詩	西岡みゆき	久留米市
特選	張九齡之詩	持山美奈子	北九州市
〃	良寛の歌	實藤淳子	久留米市
〃	うれしきを	田代恭子	筑紫野市
久留米文化推進協議会賞	宋湘詩	大塚ゆりえ	久留米市
久留米市議会議長賞	柳宗元詩二首	吉丸浩平	久留米市
久留米連合文化会賞	論語のことば	辻桂苑	久留米市
奨励賞	田子の浦	村松知子	久留米市
〃	筆底煙雲	井上定男	基山町
〃	臨 孫秋生造像記	横谷彩智	久留米市
〃	劉墉 七言古詩幅	大石綾優	久留米市
佳作	新古今和歌集	森光博子	久留米市
〃	呉昌碩石鼓文	田中千晴	太宰府市
〃	奥山に	池末真弓	久留米市
入選	しのぶれど	田中照子	久留米市
〃	良寛のうた	江藤礼子	広川町

入 選	古今和歌集抄	佐 田 和 子	久留米市
"	かき分けて折れば	田 中 和 子	久留米市
"	こころざし	寺 前 康 子	小 郡 市
"	韓非子	松 山 玲 子	久留米市
"	臨 蘭亭序	平 川 七 海	久留米市
"	新古今和歌集	吉 福 宏 美	久留米市
"	惑	貞 包 真由子	八 女 市
"	戀	山 村 保 子	広 川 町
"	曹全碑	吉 福 晴 香	久留米市
"	王漁洋詩	執 行 納美子	久留米市
"	唐詩選	近 藤 文 子	小 郡 市
"	惲寿平詩	中 村 優 亜	久留米市
"	白居易詩	杉 山 綾 野	小 郡 市
"	鄭義下碑	肥 高 来 美	久留米市
"	椰子の実	野 口 裕 史	久留米市
"	自 竭	衛 藤 結 彩	久留米市
"	龍吹鶴語	原 田 洸 杜	太宰府市
"	萬法歸一	井 上 定 男	基 山 町

入 選	数点篝燈	中 村 三智枝	久留米市
"	雨過春城	眞 崎 くらら	久留米市
"	輕雲飄霏	中 村 幸 生	筑 後 市
"	数点篝燈	穴 見 沙緒里	久留米市
"	啼鶯日送	寺 崎 美千代	久留米市
"	迎風枕簟	吉 住 萌	久留米市
"	白秋のうた	佐 田 英一郎	久留米市
"	得意好花	弥 永 裕見子	久留米市
"	方孝標詩	中 垣 芙 椛	久留米市
"	柳	伊 藤 美恵子	久留米市
"	いづくとも	久保田 榮 子	久留米市
"	文徵明詩	森 愛 梨	久留米市
"	今年より	大 塚 紀代子	久留米市
"	贈劉潜	廣 津 風 香	久留米市
"	花の万葉秀歌	長 野 恵 子	久留米市

デ ザ イ ン

久留米市長賞	言葉の力	松 土 歩 生	福 岡 市
特 選	ドラッグの恐怖	井 上 蓮	福 岡 市
久留米文化推進協議会賞	人生色々	河 津 璃 子	福 岡 市
奨励賞	問題視	時 川 董	朝 倉 市
〃	泣けないピエロへ	寺 尾 日 向	福 岡 市
〃	型にはまる。	穂 積 千 桜	太 宰 府 市
佳 作	煙と害	小 野 開 盛	糸 島 市
〃	まだ、食べられるのに。	宮 崎 な つ	福 岡 市
〃	多 彩	平 田 みなみ	那 珂 川 市
〃	選択肢	三 角 優 太	福 岡 市
入 選	好きにやろう！	稲 泉 妃 菜	福 岡 市
〃	経年美	上 野 朝 香	北 九 州 市
〃	海洋汚染	中願寺 風 香	基 山 町
〃	貴方の色	三 角 妃 杏	直 方 市
〃	「NO! FOOD LOSS」	菊 水 拓 也	北 九 州 市
〃	成 長	千 野 日 菜 子	福 岡 市

入 選	同調圧力	山 本 祐 萌	防 府 市
"	地球を救う	藤 代 尚 生	福 岡 市
"	着たい方	淀 川 友 聖	糸 島 市
"	たまり葉	嶺 智代奈	福 岡 市
"	いんすたのげんじつ	じょん うよん	福 岡 市
"	一番星	東久保 海 華	福 岡 市
"	見えなくなる、その前に。	本 村 朱 里	福 岡 市
"	この笑顔を守りたい	小 幡 春 菜	筑紫野市
"	訴 え	富 永 明来映	出 水 市
"	成長していく STEP UP	小手川 陽 亮	福 岡 市
"	日本の音楽	吉 岡 直 輝	新 宮 町
"	自分らしく	大 串 光 樹	福 岡 市
"	迷子のラッコ	乗 木 由羽美	福 岡 市
"	Abolition of racial Discrimination	中 尾 陸 大	大牟田市
"	時 代	山 下 いずみ	福 岡 市
"	多様性	柳 瀬 乙 葉	福 岡 市
"	モットタベタイ	井 原 美 晴	太宰府市
"	ローズガーデン	石 井 海 渡	太宰府市

洋 画

久留米市長賞	かへろう。	川 島 良 子	久留米市
来目賞	かへろう。	川 島 良 子	久留米市
特 選	紺碧の森	大 田 久美子	筑 後 市
〃	石橋文化センターの小道	富 安 真 由	久留米市
〃	夜空の島	山 口 洋	久留米市
久留米文化推進協議会賞	バザールへ行こうよ	森 本 博 子	久留米市
久留米文化振興会賞	工場夜景	稗 田 敏 明	久留米市
内野賞	庭からの土産	高 木 誠 哉	久留米市
奨励賞	夏の宴（ムラサキゴテン）	由 衛 芙佐子	八 女 市
〃	筍掘り	有 働 功 一	広 川 町
佳 作	朝焼け（桜島）	手 島 文 雄	久留米市
〃	砲台跡	星 野 マユミ	久留米市
入 選	秋色の季節	千 種 道 恵	朝 倉 市
〃	待ちかねた春	山 下 泰 伸	久留米市
〃	熟れていくピーマン	山 下 泰 伸	〃
〃	役目を終えて・・・	古 賀 さよ子	久留米市
〃	見つめるもの	山 口 洋	久留米市
〃	旅の回想	宮 崎 なみ江	大 川 市

入 選	屋久島	神 代 ミチエ	久留米市
〃	紅葉 大興善寺	大 塚 紘一郎	基 山 町
〃	目鏡橋	野 口 廣	久留米市
〃	森の妖精	中 村 鏡 子	大刀洗町
〃	大宴会場風景	有 馬 智 明	久留米市
〃	九重連山の三俣山	岩 下 健 司	基 山 町
〃	はぜる実	轟 江里子	久留米市
〃	酒とカラス瓜	山 下 豊 文	久留米市
〃	紙ふうせんとケン玉	山 下 豊 文	〃
〃	三姉妹	中 島 千恵子	大野城市
〃	通りゃんせ	古 賀 善 吾	太宰府市
〃	遺されたもの	高 島 淑 子	久留米市
〃	藤 棚	吉 田 法 美	久留米市
〃	聖ヤコブと馬	東 義 真	久留米市
〃	一休み（タコマにて）	東 義 則	八 女 市
〃	なかま	下 川 光 雄	筑 後 市
〃	えのぐとみず	水 田 香 菜	筑 後 市
〃	関之尾 滝	山 下 静 江	久留米市
〃	闖入者	高 木 誠 哉	久留米市
〃	日香里	川 島 小夜美	久留米市

入 選	う、フランス	末 安 栄 子	久留米市
"	今日のベリー	牛 島 景 子	久留米市
"	雲わく海辺	大 崎 由 紀	久留米市
"	生きる	安 谷 和 子	久留米市
"	朝焼けと共に…。	稲 富 正 高	久留米市
"	温泉街が映るちくご川	樋 口 隆 之	久留米市
"	懐かしき台湾旅行	山 本 義 介	八 女 市
"	窓際の薔薇	山 本 義 介	"
"	夏の想いで	山 本 チエ子	八 女 市
"	花 火	野 口 忠 勝	久留米市
"	虫の饗宴	藤 松 加代子	久留米市
"	饗 宴	藤 松 加代子	"
"	私の宝もの	藤 田 雪 子	久留米市
"	搾 取	江 島 美 優	久留米市
"	上対馬浜玖須初秋	森 紀 夫	大牟田市
"	今日のおやつはなあに？	森 本 博 子	久留米市
"	夏の日射し	土 田 清 孝	小 郡 市
"	夕暮れどきの公園	石 戸 政 賛	鳥 栖 市
"	town	杉 野 佳代子	久留米市
"	海をあるけばお空がゆれる	行 廣 弘 子	朝 倉 市

工

芸

久留米市長賞	手毬つく秋映えに	石 田 由美子	基 山 町
豊田賞	手毬つく秋映えに	石 田 由美子	基 山 町
特 選（立体）	ルリ釉線紋花器	平 野 利 光	太宰府市
特 選（平面）	秋 暁	馬 渡 久美子	久留米市
奨励賞（立体）	七福神	若 林 元 温	久留米市
〃 （ 〃 ）	みどり奏でる久留米祭	木 崎 安 則	久留米市
〃 （平面）	山居倉庫	大 藪 勉	久留米市
佳 作（立体）	花 器	松 永 淳 治	荒 尾 市
佳 作（平面）	MANDARA	佐 竹 幸 雄	田 川 市
入 選（立体）	鉄赤釉線紋花器	平 野 利 光	太宰府市
〃 （ 〃 ）	鉢	松 永 淳 治	荒 尾 市
〃 （ 〃 ）	茶碗秋の夕空	下 尾 幸 生	佐 賀 市
〃 （ 〃 ）	茶碗雲	下 尾 幸 生	〃
入 選（平面）	波 濤	穴 井 恵美子	久留米市
〃 （ 〃 ）	ガーベラ	穴 井 恵美子	〃
〃 （ 〃 ）	高山の女王コマクサ	重 松 啓 子	久留米市
〃 （ 〃 ）	椿	嘉 村 篤 子	久留米市
〃 （ 〃 ）	老 樹	佐 竹 幸 雄	田 川 市

日 本 画

久留米市長賞	Shell timer	酒 井 貴 輝	久留米市
特 選	雲隠れ	若 狹 凜	太宰府市
奨励賞	水 心	田 中 藍 衣	太宰府市
入 選	夜桜 - 花は常に -	小 田 優佳子	筑紫野市
〃	ねんねこよ	川 口 美 玖	尾 道 市
〃	大木育ちのドラゴンフルーツ	野 田 千 鶴	大 木 町

水 墨 画

久留米市長賞

牡 丹

坂 本 千代女

久留米市

特 選

渦

平 井 由 起

大 木 町

西日本新聞社賞

露晴れま

松 隈 美代子

鳥 栖 市

入 選

ネフェルタリ、王妃

田 中 慶 子

久留米市

写 真

久留米市長賞	湊 江	藤 崎 聖 二	大牟田市
特 選	おぼろ桜	鹿児島 饒 二	小 郡 市
〃	お祓い	千 種 美 朗	朝 倉 市
〃	おとぎ噺の世界	平 川 明 子	うきは市
久留米市教育委員会賞	急 流	笠 龍 介	久留米市
久留米市美術館賞	堰	福 井 繁	上 峰 町
福岡県美術協会賞	黄金の棚田	中 野 政 重	久留米市
北筑後ブロック協議会賞	シルエット	井 口 理恵子	小 郡 市
奨励賞	祈 り	森 田 卓 志	筑紫野市
〃	セルフタイマー	桑 原 美知子	久留米市
〃	二人の s u m m e r	門 谷 小夜美	志 免 町
佳 作	耐える	久 間 久 幸	みやま市
〃	薫風浴びて	引 地 道 子	福 岡 市
〃	ムスカリ夢の中	山 田 勝 征	福 岡 市
入 選	身延桜	岡 康 和	みやき町
〃	むつごろう空を飛ぶ	瀧 上 忠 臣	久留米市
〃	夕空との協演	馬 場 康	筑 後 市
〃	ウルトラマン	入 江 満里子	宗 像 市

入 選	蝶の舞	上 野 睦 士	朝 倉 市
"	乱 舞	安 川 伸 夫	八 女 市
"	祈 り	瀧 口 智 之	北 九 州 市
"	楽しかったね！	笹 倉 良 子	大 野 城 市
"	清らかな心	中 尾 博 臣	久 留 米 市
"	人馬一体	箕 田 義 己	篠 栗 町
"	枯淡な装い	泉 チズ子	久 留 米 市
"	明烏と始発列車	成 清 平 和	筑 後 市
"	孫への便り	長 岡 基 博	久 留 米 市
"	睡蓮と波紋	野 口 豊	久 留 米 市
"	大都会	江 口 美千代	佐 賀 市
"	夕 影	森 三代志	佐 賀 市
"	出初式	井 上 美 弘	多 久 市
"	旅路の果ての岬	遠 山 博 行	筑 紫 野 市
"	水辺のハンター	船 越 博 之	大 野 城 市
"	太平洋へ	菊 地 昭 彦	福 岡 市
"	新緑を縫う	古 川 正 則	久 留 米 市
"	開 幕	石 橋 正 幸	久 留 米 市
"	鬼と子供	石 井 慧 彦	うきは市
"	閉めますよ	北 島 東司郎	筑 後 市
"	大根櫓を子供走る	平 川 睦 之	久 留 米 市
"	海苔漁解禁	中 村 光 男	久 留 米 市
"	火渡り大護摩供	野 村 詩 朗	佐 賀 市

入 選	遊ぼうよ。	樋 口 清 人	八 女 市
"	明 夜	吉 田 一 盛	筑紫野市
"	瞳の先は・・・	山 崎 松 子	広 川 町
"	岩壁に命を懸ける	田 中 雅 治	久留米市
"	大波に挑む	中 村 直 之	太宰府市
"	麦 秋	岩 井 祐 子	福 岡 市
"	斜 陽	河 野 修 身	福 岡 市
"	飛び立つ	矢 野 国 博	筑紫野市
"	一心に研ぐ	渡 部 彰 子	筑紫野市
"	命を繋ぐ	原 武 稔	久留米市
"	瞋 り	望 月 誠	筑 前 町
"	時空のゆがみ	近 藤 和 広	大刀洗町
"	シャッターチャンス	三 浦 廣 春	飯 塚 市
"	教会美	井 上 正 明	久留米市
"	興味津々	古 賀 剛 敏	久留米市
"	故郷に送信	岩 間 静 子	朝 倉 市
"	火の鳥アカショウビン	古 賀 幸 彦	筑 前 町
"	春の農作業	山 田 純 子	福 岡 市
"	路地裏の語らい	尾 崎 幸 秀	福 岡 市
"	スポットライト	鳥 越 英次郎	久留米市
"	架空都市	井 寺 崇 之	筑 後 市
"	星に願いを	片 島 京 子	福 岡 市
"	恋の片道切符	松 延 友 美	久留米市

彫 刻

コロナ禍以降の状況において、公募展が開催されます事に、お喜び申し上げます。

久留米市長賞、小西一記さん「生きる」は、木の材木という材料の、幾何学的なイメージから、植物が発芽して発生し生きようとするイメージを、作者は伝えようとしています。

特選の塚田朋加さんの「麗（うら）らかなる」は、たぶん、自己の内面の表情を表現しようと試みた、自刻像の秀作です。石膏頭部と、それをささえる首と肩胸部の台座が、彫刻的なカタマリ（量）と空間を表現していて、若い作者の芸術的葛藤、生を伝えています。

佳作の西川克則さん「大地へ、いのり」は、大地に生（は）えていたろう木々に自己の人生を思い、大地に生きた祈りを、彫刻的なアイコンとして表現しています。

神川祐夢さん「魅（び）」は、朗らかなモディリアニの彫刻デッサンを想わせる、伸びやかな頭部から台座の胸部の、抽象的な線とフォルムを持つ抽象性を内包した石膏頭像になっています。

蒲池愛莉さんの「痛快」は、高校生の自分（自己像）を表現しようと試みて完成させた、彫刻の意味、彫刻を作ることを考えた、石膏彫刻作品です。

（彫刻部 元田 典利）

書 道

今回の出品作品は、漢字 32 点、仮名 13 点、篆刻 4 点、総数 49 点（調和体 2 点を含む）であった。今回から半切の作品も出品許可になり、出品数の増加を期待していたが、残念ながら僅かな増加であった。因みに、漢字 10 点、仮名 2 点である。来年から徐々に増えることを期待している。

（漢字・篆刻）

久留米市長賞 西岡 みゆき

右上がりの字形で統一し、字間をつめて行間を明るく、最後まで一貫したリズムで仕上げた作品である。

特選 持山 美奈子

文字の大小、線の太細、一字一字の表情も豊かで行の流れを考慮され、落款の入れかたも立派である。

久留米文化推進協議会賞 大塚 ゆりえ

上部の大字と下部の細字の表現に変化があり面白い。下部の細字は動きも一貫して落款までよく統一した作品である。

久留米市議会議長賞 吉丸 浩平

線の強さを意識され、左右の線の連続もリズムよく表現され最後まで集中した作品にまとめられました。

久留米連合文化会賞 辻 桂苑

金文を中心に全体を 6 行に表現された、努力と集中力は立派。緊張感の中に、楽しい字形が多く表現されている。

奨励賞 井上 定男

四字の篆刻で上字 2 字が繁画で密。下部

は疎の作品をバランスよく仕上げられている。刀の勢いも感じられます。

奨励賞 大石 綾優

劉庸の臨書作で、字間、行間とも上品にまとめられ、線の抑揚を意識され安定した作品になっています。

佳作 田中 千春

呉昌碩石鼓文の臨書で一字一字真摯な態度で取り組まれ、縦5行に見事にまとめられた作品である。

(書道部 大嶋 陽堂)

(かな)

かな部門の審査を担当させていただきました。

大字かなや細字の額形式の出品が例年より少なく寂しく感じました。

審査には「線」「構成」「余白の美しさ」「完成度」等を中心に作品を拝見しました。かな作品は特に墨の濃淡、潤滑が求められます。

古典を見てください。目習いも大切です。

特選 實藤 淳子

5首を散らした横額の作品で文字の大小の変化、墨の潤滑、構成も見事でした。

特選 田代 恭子

縦三行書きの大字かな作品。構成、線質ともにすっきりした仕上がりになっています。

奨励賞 村松 知子

色とりどりの扇面に様々な構成で書き上げた細字作品です。しっとりとした優雅さが感じられます。

佳作 森光 博子

大字縦作品。線は良く練られていて安定感があります。尚且つ墨の潤滑が美しい作品。

佳作 池末 真弓

細字横形式額作品は池末さんの一点のみでした。日頃の練習の成果が線に現れていて安定感がありました。墨の潤滑が加わればもっと素敵な作品に仕上がるのではないかと感じました。

(書道部 濱田 葉子)

デザイン

公募点数34点。全てが学生による公募でした。全体的に、伝える視点や表現のインパクトの弱さを感じられました。

久留米市長賞

松土歩生さん「言葉の力」は、シンプルな構造の作品で空間をうまく利用しており、手の指先に力を感じさせ伝えたい事を強く表現できている作品です。絵も丁寧に描かれており、全体の彩色も雰囲気を出しています。現代に求められる視点を学生らしくとらえた作品です。

特選

井上蓮さん「ドラッグの恐怖」は、ドラッグ独特の雰囲気を持たせた作品で、四角の扉や色合いが目を引きました。レタリングをもっと丁寧に描かれていると完成度が上がります。

久留米文化推進協議会賞

河津璃子さん「人生色々」は、パッと印象に残る作品です。表現豊かで若い感覚で面白いです。白のチューブの描き方が途中

のように感じられたのが残念です。タイトルの句読点の意味も考え必要かどうか考えて付けられるとよいかと思います。

奨励賞

時川 董さん「問題視」は、目が一番に飛び込んできます。枝の絡まりは今の時代を表現しているように強く感じました。タイトルもイリュージョン的な描き方でもよかったのではないのでしょうか。

寺尾日向さん「泣けないピエロへ」は、ピエロの表情がよく描かれており、絵本の一部のような作品です。作品の意図する部分がもっと明確になるとよかったです。

穂積千桜さん「型にはまる。」は、猫の仕草をよく描いてあり微笑ましい作品ですが、それを消すような文字の入れ方が、絵も文字もどちらも見にくくなってしまっています。

佳作

小野開盛さん「煙と害」は、題材としては多くありますが、煙が害となる人型の表現はよかったです。もっと大胆な構図も考えてみてください。

宮崎なつさん「まだ、食べられるのに。」も題材的には多く使われていますが、絵のタッチや雰囲気よかったので、彩色をりんごだけに絞ると絵のタッチが生きてきたかと思います。

平田みなみさん「多彩」は、とても綺麗で繊細でよかったのですが、文字が大きすぎてせっかくのイラストの良さが消えてしまったのが残念です。

三角優太さん「選択肢」は、モノクロの表現の中で、白を使った部分の表現が不安と希望を感じさせる作品です。

(デザイン部 市丸 美波子)

洋 画

第72回を数える洋画部門には、57点の応募がありました。昨年度より若干数の減少になりましたが、油彩、水彩、アクリル画、版画など、いずれも質の高い作品が多く、見応えある展示内容になると感じます。

久留米市長賞・来目賞

川島 良子「かへろう。」

古びたトタン壁と扉の奥に見える工場内部の様子を明暗の対比を巧みに使って描いてあります。細部に至る観察や再現から、作品に対する作者の思いが伝わってきます。

特選 大田 久美子「紺碧の森」

点描表現とデザインパターンでの構成に新鮮さを感じる作品です。大胆でユニークな構図を緑や紺色を基調に描くことで画面を纏めてあります。

特選 富安 真由

「石橋文化センターの小道」

緑溢れる文化センター内の散策路を色調豊かに描いてあります。遠近法を上手く使って道の奥へと意識を誘ってくれます。

特選 山口 洋「夜空の島」

深いアンバーを基底色に中間色を塗り重ねるといった重厚感ある色合いですが、メルヘンチックな孤島の風景を描くことで豊かな詩情性を与えています。

久留米文化推進協議会賞

森本 博子「バザールへ行こうよ」

様々な色や模様で着色された紙を切り出し、そのパーツを配しながら日常風景の会話が聞こえてくるような物語性がある作品に仕上げてあります。

久留米文化振興会賞

稗田 敏明「工場夜景」

夜の闇の中、街灯に照らされて浮かび上がる無機質な工場の外観を、造形美にまで昇華して繊細に描いてあります。

内野賞 高木 誠哉「庭からの土産」

青々とたくましく育った葱の姿を陰影をしっかりと意識しながら描いてあります。その描写力から小作品ながらも確固たる存在感を放っています。

奨励賞 由衛 芙佐子

「夏の宴（ムラサキゴテン）」

深い暗色の背景に、染色に用いるような白抜き技法で縁取られたムラサキゴテンの花々が、躍動的に生き活きと表現してあります。色調やコントラストに作者のセンスを感じ取れる作品です。

奨励賞 有働 功一「筍掘り」

深い竹林の中、力を込めて筍を掘る女児（お孫さん）とそれを見守る年配の男性（祖父）の姿を柔らかなタッチで描いてあります。淡い青の色彩を基調に用いることで、爽やかな空間を演出してあります。

佳作 手島 文雄「朝焼け（桜島）」

二枚の紙を接いである版画の大作です。朝焼けの朱色を背景に、噴煙を上げそびえ立つ桜島のシルエットを色面の変化も加えながら雄大に表現してあります。

佳作 星野 マユミ「砲台跡」

丁寧に描きこまれた壁面の汚れや石積の質感に、時の経過を感じ取れます。壁に這うツタの流線が程良いアクセントになって、単調にならないように画面に上手く配されています。

以上の 11 点が入賞となりました。今回

の審査を終え、改めて受賞作品を見ますと作品の大小が優劣とはならず選定されたと感じます。小さいながらも力量ある作品が増えたことは嬉しく思います。一方で 100 号クラスの大作の応募が無かったことは寂しい限りです。次回も作品の大小は問わずに皆さんの力作をお待ちしていますので、久留米市総合美術展への出品のお誘い、お声掛けを宜しくお願いいたします。

（洋画部 宇美 拓哉）

工 芸

久留米市長賞・豊田賞を受賞された石田由美子さんの「手毬つく秋映えに」は、板ガラスのベースに色ガラスで装飾を施した華やかなランプシェードで、高度な技術力とデザイン力が目を引く素晴らしい作品でした。これからも意欲的、独創的な作品を大いに期待しております。

特選に選ばれた平野利光さんの「ルリ釉線紋花器」は、形、配色ともにバランスのとれた秀逸な作品で、細かな線のリズムとデザイン力が特に評価されました。

馬渡久美子さんの綴織「秋暁」は、繊維による細やか且つ大胆な色彩表現が評価され、見事、特選に選ばれました。

（工芸部 中園 唯・廣藤 圭）

日 本 画

近年コロナもあり、人口も減じ、趣味の多様化等で美術人口も以前ほどではない様に思われ、そんな中での出品ありがとうございます。

久留米市長賞

酒井 貴輝 「Shell timer」

古代から現代そして未来を現代の自分を通して見ているのであろうか。アンモナイトであろう貝、いまだ形のできていない古代、顔だけはっきり描き、体は過去のもやもやを描き、先の見えない未来を暗いバックで表し、不安視しているのでは。手の指を少し解るように描いたらと思いました。

特選 若狭 凜 「雲隠れ」

一見ポスターと思わせる作品で、何を描いているか作者から問いかけられていると感じた。現代に生きる物としてAIに対する不安、怒り、未来を考えさせる作品と感じた。

奨励賞 田中 藍衣 「水心」

水族館の中かと思ったがそうでは無く魚にまとり付かれながら何か考えている。笑っていないことからこれは社会に生きる不安でもあろうか。まさか魚心あれば水心ではないだろうが。

奨励賞 川口 美玖 「ねんねこよ」

モッタイナイ。これ程良く描けているのに人物の影が此の絵を壊して仕舞った。孫をおんぶして若夫婦の帰りを待つ三世代の幸せな家庭を思わせる。実力のある作者であるだけに本当にモッタイナイ。次回皆様の出品をお待ちいたします。

(日本画部 小川 寿一)

水 墨 画

水墨画に対する関心が少なく、寂しい状況となりました。もっと絵を描いてみたいという人が増えるよう願っています。私達も市民の方に関心を持ってもらえるよう努

力しなければと思いました。

久留米市長賞

「牡丹」 坂本 千代女

美しい牡丹の花です。花や蝶を丁寧に描かれたように、葉っぱも丁寧に描かれたら、もっと花が際立ったと思います。

特選

「渦」 平井 由起

豪快な渦潮です。音が聞こえてくるようです。ただ背景の景色にもう少し濃淡をつけて、墨の美しさを表現されたら、もっと渦が美しく際立ったと思います。

西日本新聞社賞

「露晴れま」 松隈 美代子

紫陽花は見る人によって、寂しくも華やかに可憐にも感じます。松隈さんの紫陽花は気品があり、凜として美しいと感じました。

(水墨画部 古賀 利恵)

写 真

今回の出品数は、昨年の113点とほぼ変わらず112点の出品でした。内容的には、強い作品はありませんでしたが、作者の気持ちを素直に表現された秀作が目につきました。あまりデジタル表現に頼らず、写真の持つ本来の表現を大切にしたい作品が多かった感想を持ちました。

久留米市長賞 「湊江」 藤崎 聖二

4隻の舟を組み合わせる難しい構図ながら、霧の中に配することでその遠近感を表現し、特に海苔採取用の小舟を中心に幻想の世界を見事に表現されています。雰囲気のある秀作となりました。

特選 「おぼろ桜」 鹿児島 饒二

朝霧の中、おぼろにかすむ桜並木、小さな水面が見えるが小川なのか掘割なのかそれも霧の中です。レンブラントのセピア調にまとめられた感性は見事です。アンニュイな表現が成功した作品です。

特選 「お祓い」 千種 美朗

この作品の良さは、何といても護摩行の煙の迫力です。人物の配置も見事で動きも表現しており、この場面の緊張感と迫力が伝わります。音まで聞こえてきそうな表現豊かな作品となりました。

特選 「おとぎ噺の世界」 平川 明子

街中か港かはわかりませんが、水面に反映された様々な文様が、画面全体に広がり、この紋様だけで単純に構成したことが成功しました。白の部分、黒の部分、青の部分のバランスが絶妙です。組写真にしても面白い題材です。

久留米市教育委員会賞 「急流」 笠 龍介

菊池渓谷での光芒でしょうか。題材としては、よく見かける場所ですが、この作品はそのことを忘れさせるほどの力強さがあります。光芒もさておきながら、増水していたのか、激流の表現力が見事であり優れた作品となりました。

久留米市美術館賞 「堰」 福井 繁

井堰の流れに、高圧電線が映り込んでいるところですが、もう少しシャッタースピードを遅くして、水の流れを流し込んで映したら、もっと違った作品に仕上がったかもしれませんね。でも、なかなか良い所に目を付けたものです。

福岡県美術協会賞

「黄金の棚田」 中野 政重

黄金の棚田の輝く色彩が見事です。風による棚田のきらめきと、腰を曲げた農夫のワンポイントが、素敵な作品になりました。いつまでも残したい大切な風景です。

北筑後ブロック協議会賞

「シルエット」 井口 理恵子

ホオズキの赤が効いています。真横で撮っているので少し平面的なきらいがあります。もう少し斜めになる画面構成が良かったかもしれません。オシャレな作品でセンスの良さがうかがえます。

(写真部 井口益次・久我敏博・川島幹夫)

第 72 回久留米市総合美術展出品・入賞・入選状況

部 門	出 品 状 況		居 住		審 査 状 況		
	人 員	点 数	市 内	市 外	入 賞 点 数	入 選 点 数	選 外 点 数
彫 刻	5	5	1	4	3	2	0
書 道	48	49	36	12	14	35	0
デ ザ イ ン	34	34	0	34	10	24	0
洋 画	50	57	31	19	12	46	0
工 芸	12	17	7	5	9	9	0
日 本 画	6	6	1	5	3	3	0
水 墨 画	4	4	2	2	3	1	0
写 真	73	112	20	53	14	50	48
合 計	232	284	98	134	68	170	48

久留米市総合美術展実行委員会

会 長 内 野 博 夫

審査委員長 久 我 敏 博

審 査 員

日 本 画	小 川 寿 一	佐 古 葉 子		
水 墨 画	大 石 紫 光	中 村 玉 絹		
洋 画	宇 美 拓 哉	江 口 登	向 坂 万 基 子	田 中 慧
	田 中 順 子	日 野 美 千 代	二 橋 重 美	弥 富 節 子
彫 刻	内 野 博 夫	元 田 典 利		
工 芸	太 田 京 子	倉 富 政 憲	佐 藤 照 子	中 園 唯
	八 田 絹 代	廣 藤 圭		
書 道	石 田 洋 子	井 上 泰 三	大 嶋 陽 堂	佐 川 大 羊
	堤 裕 子	豊 福 桂 舟	中 島 静 山	濱 田 葉 子
	宮 崎 悠 雲			
写 真	井 上 利 明	井 口 益 次	久 我 敏 博	高 良 慶 治
	長 田 敦 子	橋 爪 征 夫	宮 原 典 子	森 田 昭 代
	安 岡 義 之			
デザイン	市 丸 美 波 子	吉 本 暢 子		